

子育て応援講座【中山町】

総事業費	78 千円
交付金額	39 千円

地域の実情と課題

- ・山形県全体の特徴として、結婚後も働き続ける女性が多い。中山町における女性の労働力率は、ほとんどの世代で全国平均を上回っており、働いている又は働く意思のある女性が多い。しかし、地域や家庭における性別による固定的な役割分担意識も根強く残っている。
- ・平成29年度に実施した町民意識調査の結果では、小・中学校の保護者において、現在優先していることは、男性は「仕事」が最も多く、女性は「家庭生活」が最も多くなっている。また、誰が中心となって家事をおこなっているかについては、「食事づくり・後片付け・掃除・洗濯・日用品の買い物」の項目で65%～70%の女性が「自分」と答えており、次いで「祖母」が多く、男性がこれらの家事を行っている割合は10%～20%にとどまった。このことなどから依然として、家事の大半が女性の仕事となっていることがうかがえる。
- ・町ではワーク・ライフ・バランスやイクボス、女性の意識改革について取り組みを行ってきたが、家事育児に関する男性の意識改革については更なる取り組みが必要である。

事業の特徴

子育て中の男性や家族を対象に、男性の家事育児に対する抵抗感を払拭し、夫婦が一緒になって子育てを行う重要性を理解することを目的として、参加者が子育ての楽しさを実感できるよう、ワークショップを中心とした「子育て応援講座」を開催し、意識改革につなげていく。

事業の効果

普段あまり子供とのふれあい時間が取れない父親が、子供とゆっくり向かい合い、共同でひとつの作業を行うことで、子供と過ごす時間の楽しさを実感し、子育てに対する抵抗感の払拭につながった。また、終了後のアンケートでは95%以上が「大変満足」「満足」と回答し、参加者より「子供の成長を感じられた」との声もあり、日常生活の中では見ることでできない新たな発見にもつながった。

目的・目標

- 《目的》
性別に関わらず、夫婦が一緒になって家事育児に取り組み、ともに家庭での責任を担うことで、女性が社会の様々な分野に参画し、働きやすい環境の整備を図ることを目的とする。
- 《目標》
アウトカム:参加者の満足度 80%
- 《達成状況》
本事業で設定した目標のうち、男性の家庭生活促進事業の実施や参加者の満足度については達成。特に参加者の満足度については、講座終了後に行ったアンケートにおいても95%以上が「大変満足」または「満足」と回答しており、大変有意義な講座となった。

連携団体

- 【中山町男女共同参画推進委員会】
山形県男女共同参画センター、町女性団体連絡協議会、町商工会、町PTA連絡協議会、町区長連絡協議会、人権擁護委員、一般町民
- ・その他の連携団体及び連携方法
山形市男女共同参画センター、各小学校や関連イベントでの周知活動

今後の課題

- アンケートにおいて、普段の子供との関わり時間を尋ねる問いに対し「もっと子供と関わる時間を取りたいが、仕事が忙しくてなかなか時間が取れない」「時間は取れているが、できればもっと子供と関わる時間を増やしたい」と回答した父親が約78%にも上った。
- 女性の社会参画を促していくためには、男性の理解や協力が不可欠であり、家庭における男性の意識改革は基より、ワーク・ライフ・バランスや男性の育児休暇の取得など職場や社会全体での取り組みが課題となっている。

